



< 2025.5 >

BULLETIN

2024年7月～2025年6月

会 長 樋口 順英
副 会 長 青木 方枝
書 記 村杉 一榮
会 計 小仁 恵子
監 査 柿沼 敬喜
担当主事 柳原みずき

国際会長 A・シャナヴァスカン 「より良い世界のために、共に」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事 山田 公平 「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長 山本 剛史郎 「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
クラブ会長 樋口 順英 「元気で楽しいのが一番！」

5月度 母の日

あなたの父と母とを敬え。これが第一の戒めであって、次の約束がそれについている、そうすればあなたは幸福になり地上でながく生きながらえるであろう。(エペソ人への手紙 6章2節～3節)

*** 貴方の父母を敬うことが、貴方の幸福につながる**

2025年5月例会

日時: 2025年5月21日(水)18:00 ~ 20:00

場所: 東京YMCA東陽町センター

司会: 佐野、受付: 村杉

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
ゲスト、ビジター紹介;	樋口 会長
聖句・お祈り・食事 ☺	西澤紘一メン
卓話者紹介	柳原みずきメン

卓話 東京 YMCA にほんご学院非常勤講師
日本語教師養成講座講師 仲山 淳子 氏
～テーマ「やさしい日本語」

各種報告、YMCA報告

ハッピーバースデー 青木、小仁、目黒、柳原各メン

閉会点鐘 樋口 会長

★お弁当注文の都合上、ご出席者は5月17日までに青木メン迄

【例会出席率】 在籍: 16名 4月出席率 8/13 62%

出席: 4月 (メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】 3クラブ合同、ミャンマー地震緊急支援募金に

母の日を思い、紫陽花

小仁恵子

ハナミズキが咲き、新緑の季節がやってきました。

コロナ禍真っ只中の母の日、長男から私の大好きな紫陽花(鎌倉明月院ブルー)の小さな鉢植えが送られてきました。沈んでいた気持ちが明るくなるようなブルーの色に、思わず小躍りしてしまいました。

花を堪能した後、ひとまわり大きな鉢に植え替えをしたところ、土壌の変化で色がすっかり変わってしまい、残念なことに。去年は家族の体調不良もあって、花の世話ができませんでした。

来年こそはこの夏の酷暑を乗り越えて、綺麗な花が咲いてくれるように期待します！

【写真右】
色が変わってしまった紫陽花



◆2025年4月(3クラブ合同)例会報告

日 時: 2025年4月17日(木) 19:00~21:00

場 所: 東京YMCA東陽町センター

出席者: 青木、柿沼、小仁、佐野、西澤、村杉、樋口、柳原、

ゲスト: 東京YMCA 総主事 星野 太郎 氏

ビジター: 関東東部部長 山本 剛四郎メン(川越)



▲ 概要

- 昨年10月に引き続き、東京江東クラブ、東京ひがしクラブとの3クラブ合同例会を行ないました。ゲストに東京YMCA新総主事、星野太郎様をお迎えし、出席者多く(合計34名)、盛況な会になりました。
- 金丸副会長(ひがし)による開会点鐘、各クラブ会長による開会挨拶につづき、ミャンマー地震緊急支援募金、聖句、食前のお祈りと続きました。また食事後、江東クお2人の入会式が厳かに執り行われました。
- 星野様による卓話では、2030年の創立150周年に向けて「東京 YMCA が目指すこと」につき熱く語っていただきました。

▲ 卓話の概要

卓話者: 星野太郎氏(東京 YMCA 総主事)

卓題: 「東京 YMCA が目指すこと」

~2030年の創立150周年に向けて

- 大切にしたいこと2つ
 - 1) 世界とつながる・・・
VISION2030 のゴールを共有し連帯する
 - 2) 使命に拠り立つこと・・・
中期計画委員会にて議論中
 - 世界の YMCA で取り組む4つの柱)を基本方針として事業と活動を行う。
 - 1) Community Wellbeing (心身の健康)
 - 2) Meaningful Work (仕事のやりがい)
 - 3) Sustainable Planet (持続可能な地球)
 - 4) Just World (公正な世界の実現)
- ・これらを達成するため、3段階による改革を目指す
(まず YMCA 内→地域→世界の変革)

- 2030に向けて、「私たちの行動指針」

- 1) ユースが輝く場をつくる
 - ・ユースリーダー育成基金の充実
 - ・ユースによるプロジェクトチームの発動
 - ・中高生ボランティアの新規立ち上げ
- 2) 地域とともに歩む
 - ・地域社会の課題に応える新拠点の設置
- 3) 多様性のある場を大切にする
 - ・誰もが自分らしく生きられる居場所を
- 4) 子どもの未来のために環境を守る
 - ・ユース世代中心気候変動対応プロジェクト
- 5) 活動の基盤となる組織を強くする
 - ・寄付、募金、ボランティアの増強
 - ・安定的な要員確保、採用
 - ・スタッフ1人1人の職員満足度を上げる等

- 職員にこう語っています。

Y: ユースが輝く場を

M: 一人の「より良い生き方」「働きがい」を大切に

C: 祈り、聖書に学ぶ、これが原点

A: 職員だけでやらない。協働し連帯する

(村杉 記)

▲ハッピーバースデー: 今月はなし

(小仁 記)

◆5月例会卓話のご案内

卓題 「やさしい日本語」

卓話者 にほんご学院 非常勤講師 仲山 淳子 氏

■この度、日本語教師の第一人者的存在であり、にほんご学院の講師でもある仲山淳子氏をお招きしました。外国人だけでなく、子どもやお年寄り、障がいのある方にも伝わりやすい「やさしい日本語」につき、注目されるようになった社会的背景から、実際に「やさしい日本語」の使い手になる実践のコツにつき教えていただきます。

■ 講師 プロフィール

氏は日本語教師として日本語学校だけではなく、大学、大学院、専門学校、国立の研究所などで指導、小学校の外国人児童の指導経験をお持ちです。

日本語教師養成講座で多くの日本語教師の育成をする傍ら地域に根差した日本語支援を目指されています。にほんご学院の非常勤講師として、多くの外国人生徒への日本語指導、インターナショナルスクールでの外国児童の日本語授業を担当いただいています。

著書: 「日本語文法ブラッシュアップトレーニング」

(アルク出版)

(柳原 記)

◆関東東部レクレーション(EMC企画)

「江戸城ウォーク」参加報告

“皇居東御苑散策”

開催日 2025年4月5日(土)

集合時間 10時00分(12時30分解散)

集合場所 東京駅丸の内北口改札ホール

参加者 26名(グリーン参加者:青木、村杉、小仁、樋口)

《コース》

東京駅丸の内北口～永代通り(道三堀跡)～大手門～
大手三の門(下馬門)～同心番所～百人番所～
中の門～大番所～中雀門～富士見櫓～松の大廊下跡
～本丸大芝生～(休憩)～江戸城天守復元模型
～大奥跡～天守台(記念撮影後解散予定)～北桔橋
門(きたはねばし)～竹橋駅



【写真】天守台(右うしろ)をバックに記念撮影

関東東部の EMC レクレーションとして、江戸城ウォークに参加しました。

コースは、東京駅から江戸城本丸への大名たちの登城ルートを歩きました。本丸御殿跡の広大な土地をみると、長きにわたる江戸の繁栄を感じることが出来、小春日和の江戸城に桜吹雪が舞うひとときの大名気分を味わいました。また名ガイドによる、道三堀、日比谷入江、西川の蚊帳などの説明は、いい勉強になりました。

各クラブからの参加者は26名。ご家族・ご友人・知人を誘ってのご参加も多く、普段あまり会話の機会が少ない方々と道すがら仲良くなったりして、ほのぼのと楽しいイベントでした。



▲午砲台跡(ごほうだいあと)について

江戸城本丸御殿跡(本丸大芝生)の中奥(なかおく=將軍の日常生活、政務を執る場)あたりに幅60cmぐらゐの碑を見つけました。「いろいろ調べてみたら、！」



【写真】大芝生内の午砲台跡碑(ドン!の原点)

- ① 1871年(明治4)午砲の制が定められ、皇居内の江戸城本丸跡庭園にて陸軍近衛師団が空砲による報時を開始。空砲の音は「ドン」と呼ばれました。土曜日のことを「半ドン」と言った記憶があります。
- ② しかし1929年(昭和4)経費難などのため市内各所に設置したサイレン(号笛所)に切り替えました。

(樋口 記)

◆2025年5月第二例会(役員会)休止

5月14日(水) 15:00～16:30 Zoom で行う予定でしたが、機器の都合により休止させていただきます。

◆2025年6月第二例会(役員会)予告

日時:2025年6月11日(水) 15:00～17:00 Zoom

主な議題: 1) 6月例会「ふりかえり」

2) 「神田川船の会」運営関係

(樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 5月10日(土) 第91回神田川船の会(浅草橋)
- 2) 5月21日(水) 5月例会(東陽町) 18:00～
- 3) 5月17日(土) 関東東部評議会(東陽町) 13:30～
- 4) 5月24日(土) 第22回会員大会(山手センター)
- 5) 6月 6日(金) 田園調布学園船上学習
- 6) 6月 7日(土) 第28回東日本区大会(宇都宮)
- ★申し込み締切り:5月15日(申込済み)
- 7) 6月11日(水) 6月第二例会(Zoom) 15:00～
- 8) 6月18日(水) 6月例会(東陽町) 18:00～
- 9) 7月 9日(水) 7月第二例会(Zoom) 15:00～
- 10) 7月16日(水) 7月キックオフ例会
- 11) 8月1日(金)～3日(日)アジア太平洋地域大会(熊本)

★申し込み締切り:7月11日

(樋口 記)

VIVA CLASSICAL

暑い日には熱い曲「スペイン奇想曲」



作曲：ニコライ・リムスキー＝コルサコフ(1844-1908)

スペイン奇想曲(1887)

指揮：キリル・コンドラシン(1914-1981)

RCA ビクター交響楽団(1958 年録音)

ことしの夏も熱くなりそうですね。灼熱の日々にスペイン音楽はなかなかいいものです！

ロシア国民楽派のリーダー、リムスキー＝コルサコフは、ロシア音楽界で権勢を誇りましたが、スペイン音楽に魅せられてこの曲を作曲しました。作曲技法では近代管弦楽法の元祖と呼ばれ、カラフルな音色が魅力です。独特の、楽器の奏法や組合せなど見られます。

「奇想曲(カプリッチョ)」とはイタリア語で「気まぐれ」を意味し、技法や形式にとらわれない自由な曲のことです。

本曲は5つの舞曲が続けて演奏されます。メロディーやリズムはスペインの作曲家ホセ・インセンガが出版した民謡・舞曲集から借用し、管弦楽曲としてド派手できらびやかでスペイン情緒たっぷりに仕上げました。ソロ楽器が生き生きと活躍する！元気の出る曲です。

- ①アルボラーダ：アストゥリアの朝の喜びを讃える踊り。
- ②アストゥリア民謡 タベの踊り：蒸し暑く気だるい宵。
- ③アルボラーダ：①と同じ踊り。ヴァイオリンソロがいい
- ④アンダルシアのジプシーの歌：ハンガリー風の歌
- ⑤アストゥリアのファンダンゴ：活気溢れる踊りで盛り

思い出の CD：1958年ソ連の名指揮者コンドラシンが訪米時に録音されました。RCA ビクター交響楽団はこの録音用にニューヨーク・フィルの最強メンバーを中心に組織され、その録音には当時超優秀技術といわれた RCA「リビング・ステレオ」を用いました。かくして冷戦下、米国の威信をかけた歴史的な名レコードが誕生しました。

(樋口記)

YMCA コーナー

1. ミャンマーで3月28日に大規模な地震が発生し、ミャンマーYMCAから日本YMCA同盟に緊急支援要請があったことを受けて、全国のYMCAは「**ミャンマー地震緊急支援募金**」を開始した。東京YMCAでは4月17日に高田馬場駅周辺で街頭募金を実施した他、各地域で募金活動を行っている。

2. 3月29日、「**東京YMCA総主事就任式**」が古賀博牧師(東京YMCA評議員会会長／日本基督教団早稲田教会)の司式により日本基督教団霊南坂教会にて開催され、東京YMCAや全国YMCAの関係者125名が参列した。

「ひび割れた世界のなかで」と題した古賀牧師の説教に続き、星野太郎新総主事から誓約があり、菅谷淳前総主事から聖書が引き継がれた。

3. 4月10日、「**第34回チャリティーゴルフ大会**」がPGM総成ゴルフクラブ(成田市)で開催され、21組78人が参加した。益金約45万円は能登半島災害復興支援募金及びフレンドシップファンドとして用いられる。

4. 2月1日にスタートした**外国にルーツのある子どもたちの支援活動**のためのクラウドファンディングが4月18日に終了した。目標額250万円に対して149人から311.5万円が寄せられた。

また、様々な背景を持つ子どもたちに YMCA のプログラムを提供するための、クラウドファンディングを用いた継続寄付制度「YMCA 子ども未来応援サポーター」も開始した。

5. 4月19日、「**なにわシーサー's 漫才&トークショー**」が山手センターで開催され、70名が参加し、なにわシーサー'sとして活動されている川平慈英氏と伊原剛志氏の漫才を楽しんだ。益金は外国ルーツの子どもたちへの支援活動のために用いられる。

6. 今後の主な行事(予定)

1)「**早天祈祷会**」5月7日(山手センター／オンライン)

奨励：星野太郎総主事

2)「**第22回会員大会**」5月24日 山手センター

(クラブ担当主事：柳原 記)